



東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人 偶数月末日
発行日 1部10円
定価 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500



本学のシンボルマーク

# 東京・新潟短大入試要項

### 両短期大学では、今年秋に推薦入学試験を行ったが、一般選抜入学試験は来年一月と二月に実施する。

#### ★東京短期大学

一般A入学試験は平成二十三年一月二十三日(日)に行う。募集人員は歯科技工学科約十名、歯科衛生学科約二十五名。学力試験は英語、数学、国語のうち歯科技工学科は二科目を選択して受験し、面接試験も受験する。試験会場は千代田区富士見の生命歯学部。合格者発表は一月二十五日(火)午後一時、東京短期大学に掲示し、短大ホームページでも発表する。

#### ★新潟短期大学

歯科衛生学科の一般選抜試験(A)は、一月二十一日(土)新潟短期大学で実施する。募集人員は約二十名。学力試験は英語、国語表現法、数学のうちから二科目を選択し、面接試験を受験する。合格者は、二月二十五日(火)に新潟短大ホームページに掲載し、入学手続要項を郵送する。

日本歯科大学 検索

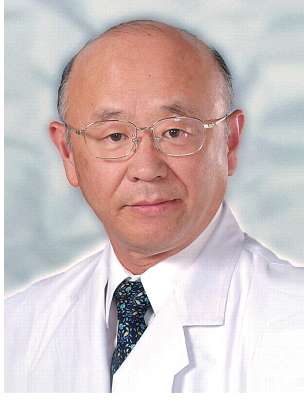
http://www.ndu.ac.jp

⇒ \*東京短期大学

⇒ \*新潟短期大学

### メディナ博士 フィリピン大学 歯学部長に就任

日本歯科大学博士のフィリピン大学のメディナ教授 (Vicente Osorio, Jr.) は、このたび同大学歯学部長に就任した。メディナ歯学部長は一九六三年生、一九八六年(昭和六十一年)フィリピン大学歯学部卒業。同大学で助手を務めたのち、平成十一年から本学大学院新潟歯学研究科に国費留学し、硬組織機能治療を専攻して平成十四年に博士(歯学)の学位を授与された。



### 新潟短大学長に柴崎教授

### (新潟・内科学)

本学新潟短期大学の新任学長に、新潟生命歯学部教授が、九月一日付で就任した。

柴崎学長は、昭和十七年八月山形県生まれ。任期間は二年。新潟短期大学の内科学講座の柴崎浩一教授が、九月一日付で就任した。柴崎学長は、昭和十七年八月山形県生まれ。任期間は二年。新潟短期大学の内科学講座の柴崎浩一教授が、九月一日付で就任した。

### 河村博教授(東京)最終講義

生命歯学部内科学講座の河村博教授は、本年九月末で定年を迎えることになり、最終記念講義が九月六日午後五時半より、生命歯学部九段ホールで開催された。河村教授は昭和四十一年三月日本大学医学部卒業。同大学より医学博士号を受領し、医学部講師等を経て、平成六年四月一授に就任し、附属病院副院長などを歴任した。



花束をうける河村教授

### 太平洋を越え 広がる交流の輪



### 修了証を手渡し、説明する中原学長

●第23回交換学生の記事は本紙2面に掲載●

「その半年後の7月26日、UBCの一行6名が東京に到着し…」

座はダブル受賞となった。受賞演題は次の通り。中原貴ほか「再生歯インプラントの実現に向けた歯根・歯周組織ユニットのインビトロ形成と移植評価」。川上未有希ほか「耳下腺腫瘍細胞株と同時に樹立したB-リンパ球株の有用性に関する検討」。

【歯鏡】▼テレビ朝日の中村梅雀主演のドラマのシーンに、生命歯学部の図書館が撮影された。八月二十一日、土曜ワイド劇場「弁護士森江春策の事件簿」で放映。

▼一月三十一日放映のNHKスペシャル「無縁社会」が、第五十八回菊池寛賞を受賞した。新潟生命歯学部の解剖学実習室等が撮影され、影山幾男教授(解剖学)が案内役として出演した。

### 新潟・先端研 医真歯学会優秀賞

新潟生命歯学部先端研究センターの仲村健二郎准教授らの研究発表が、十月十六・十七日に東京大手町サンケイプラザで開催された第五十四回日本医真歯学会総会で優秀賞を受賞した。受賞演題は、「ラクトフェリンのラット・カン

### ジグザグ骨関節炎に対する 予防抑制効果。

会において、最優秀口演発表賞(李春根賞)を受賞した。

### あわせて、川上未有希 大学院生は最優秀ポスター発表賞を受賞し、同講

東京・発生再生医科学最優秀ダブル受賞

生命歯学部発生・再生医科学の中原貴教授は、十月十六・十八日に開幕メッセで開催された第五十五回日本口腔外科学会総会・学術大

### 倉治先生(68回)日歯会総会初の女性議長

本学第六十八回卒業の倉治ななえ先生(東京・大田区)は、九月十日に開催された社団法人日本歯科医師会第一二一回通常総会で、女性として初めて議長を務めた。

倉治先生は、第一一九回総会でも女性初の議長を務めた。



# 第23回 姉妹校交換学生

日本歯科大学の姉妹校交換学生制度は、春に本学両学部の学生が姉妹校カナダ・ブリティッシュコロンビア大学(UBC)とアメリカ・ワシントン大学(UW)を訪問し、夏にUBCからの訪問を受け入れ、相互に研修と親睦を図る本学独自の教育プログラムである。

本プログラムは、国際交流の啓発を目的として一九八六年(昭和六十一年)に始まり、今年で二十三回を迎えた。同行教員を含めた本学からの派遣は一五六名、受



シアトルではワシントン大学(UW)を訪問

入れは一七一名となった。派遣と受入れは、総計三二七名を数える。

今年、二月に開催されたバンクーバーオリムピックの影響で、派遣時期を急遽十二月末から一月の期間に前倒し、クリスマスはアメリカで、年末年始をカナダで過ごすという交換学生史上初めてのプログラムとなった。



お台場で夜景とシー・フードを満喫

本学の一行七名は、十二月二十五日に成田空港を出発し、同日の早朝にシアトル・タコマ空港に到着。ホテルにチェックイン、暫しの休息の後、シアトルのダウンタウンに繰り出した。日本のごみ溢れるクリスマスとは違いほとんどの店が休みで、クリスマスのイルミネーションに飾られ静寂に包まれた街並を楽しんだ。翌二十六日の



住友生命歯学部長、ごちそうさまでした

二十七日に一行は、空路バンクーバーへ移動。二十五日にデトロイトで発生したテロ未遂事件の影響を受け、空港でのセキュリティが強化され、手荷物検査、カナダ入国審査等緊張感極まる場面



とにかく寒かったノース・バンクーバー

に遭遇した。その影響によりバンクーバー到着も遅延となったが、教育プログラム担当のRaymond Sze教授はじめ多くの学生達の温かい出迎えを受け、その晩は歓迎会とな



美男におすすイケメン大仏? 鎌倉でパチリ

ンやニューイヤーパーティ等の交流を通して、お互いの信頼関係が固い絆で結ばれていく様子うかがえた。日程の後半は、UBCでの研修に帰国の途について。

後になりましたが、貴重な機会を与えてくださいました関係者の皆様により感謝申し上げます。(同行教員・菊池憲一郎)

**交換学生**

二〇一〇年度姉妹校交換学生は次の通り。  
(日本歯科大学)

生命歯学部 田宮 旬子  
中島慎太郎  
那須 真奈  
新潟生命歯学部 小出 晴子  
西野 鳩子  
山口 光祐  
(ブリティッシュ・コロンビア大学)

Ms. Angela Tai-Ching Chin  
Ms. Vivian Chow  
Ms. Saraz Najian  
Mr. Alex Chen  
Mr. Dustin George  
Dr. Marwan Hameed (同行教員)

その半年後の七月二十六日、UBCの一行六名が東京に到着し、八月一日まで滞在した。附属病院での歓迎セレモニーをはじめ、附属病院や学部施設の見学のほか、学生有志による築地ツアードイズニーシーや江戸島鎌倉観光に出かけた。

ついて八月二日に新潟に移動し、新潟病院や医科病院、医の博物館などの施設見学や歓迎セレモニー、新潟の夏祭り、海水浴、弥彦山観光などに参加し、日本文化の造詣を深める機会を得て、八月九

日、名残惜しさを残しつつカナダへの帰途について。《交換学生に同行して》今回、滞在中にアメリカでテロ未遂事件の発生があったが、大きな問題もなく、全員が元気に帰国できた事に安堵している。参加した学生にとっては、人生でかけがえのない貴重な財産が得られたものと感じている。最



新潟の学長室を訪問、中原学長と記念撮影



クリスマスの余韻が残る成田空港から出発



そろいの浴衣で新潟祭り・民謡流しへ



EnLinx本社、中央はCEOのTobin氏



患者ロボット・シムロイドも体験しました



ウェルカム・パーティー、小倉新潟生命歯学部長を囲んで勢ぞろい